ひろかだより

第305号
平成29年12月15日
発　行
弘果 弘前中央青果株式会社
弘前市大字末広1丁目2-1
TEL 0172-27-5511
URL http://www.hiroka.jp

弘前水産
市場開放 土曜市
毎週土曜日 午前7時～午前10時
好評開催中!!
※市場休市日は休みです。

二〇一七年 弘果この一年

2017年も残すところあと僅かとなりました。今年は全国的な天候不順による夏場の猛暑、その後の日照不足、低温、台風等により、農作物の生育に影響を及ぼし、消費動向や相場が大きく変動した一年でした。

そこで、当社取扱いのりんご、やさい、国産果実、輸入果実それぞれの2017年を振り返ります。

りんご

平成29年産りんごは、開花期の低温や強風の影響でカラマツの発生が多かったことと、夏場の猛暑や干ばつの他、8月に入ってからの低温が影響したことで小玉傾向となりました。また、昨年に続き黒星病が見られた他、台風18号の影響でキズ果も多く見られ数量、良品物共に少ない状況となりました。8月3日～11月30日までの累計は、数量336万8千箱（前年比90．2％）、平均単価3953円（前年比88．8％）となり、昨年を下回る結果で推移しています。

今年産は8月3日が開市となり、極早生種についても小玉傾向のため昨年を下回る入荷数量となりましたが、良品物を中心に概ね堅調な相場で取引されました。

早生種の「つがる」は、朝晩の寒暖差があったことから着色が良く、また他県産の出遅れから引き合いも強く終始活発な取引でしたが、小玉傾向だったことから、販売単価では前年を下回りました。

中生種の「トキ」は、海外からの引き合いが強く、また、「早生ふじ系」は、小玉傾向のため昨年を大きく下回る入荷数量となりましたが、「つがる」の早い切り上がりから引き合いが強く、終始堅調な取引となりました。「ジョナゴールド」は、長期貯蔵用の仕入れから堅調な取引となりましたが、小玉傾向だったことで昨年を下回る入荷数量となりました。「世界一」「陸奥」つがりあんアップル「大紅栄」は、大玉を中心に海外需要が高まり活発な取引となりました。

晩生種の「王林」は、肥大が良かったことから順調な入荷となりましたが、「有袋ふじ」は小玉傾向が響き昨年を大きく下回る入荷となりました。主力の「サンふじ」は食味も良く大玉を中心に引き合いが強く、堅調な取引となりましたが、小玉傾向とキズ果、つる割れの発生で良品物が少ない入荷となりました。

りんご部では、現在設置している9か所のりんご集荷場（岩木、目屋、小沢、大鰐、平賀、浪岡、鬼沢、十面沢、秋田県北）を次年度も開設して行く他、選果委託品の販売については12月から選果機を稼働し、販売していきます。これからも、生産者の利便性、労働力軽減を図る等の取り組みを行って参ります。

やさい

年明け後県内は寒気の影響も少なく、3月に入り日照時間が多かった事から、下旬には急激に雪解けが進みました。

4月には一時強風もありましたが、その後、干ばつ傾向が5月下旬まで続き、果菜類などは入荷減となりました。

7月には全国的な猛暑となり、末端消費は非常に鈍く引き合いが弱いため、野菜全般に安値となりました。秋には相次ぐ台風の接近はありましたが、津軽地域では大きな被害も無く順調な入荷となりました。しかし、根菜類、葉茎菜類などは、全国的に出回り量が多かったため、引き合いも弱く、昨年を下回る単価が続きました。

11月には端境期や、寒波、曇天などにより出回り量が減少したため、ようやく相場も回復し平年並みとなり、年末まで続く見込みです。

国産果実

【県内果実】

つがりあんメロンのアムさんは、品質・食味ともに良いことから贈答需要もあり、好調な取引となりました。アーバンデリシャスは、出始めは小玉傾向でしたが、徐々に大玉傾向となり、8月上旬までは他県産の品薄傾向から順調な取引となりました。ハニーゴールデンメロンは、玉伸びも良く、品質・食味ともに好評価を得て、単価高での取引となりました。

川中島白桃は、旧盆明け以降の干ばつにより小玉傾向となり、また、他県産と競合となったことから、前年を下回る単価での取引となりました。しかし、他県産が切り上がってからは、引き合いが強まりました。

スチューベンは、9月に入り好天が続き、寒暖差があったことから順調に着色が進みましたが、小房傾向などから生産量が減少となりました。販売では、他県産ぶどうが着色不良などによる出荷量の減少から、順調な取引となりました。

今年販売4年目を迎えたシャインマスカットは、生産量が年々増えており、需要の高まりから貯蔵品も含め引き合い強く、好調な取引となりました。

【県外果実】

夏果実の西瓜・メロンは、前半干ばつの影響もあり小玉傾向で推移しましたが、メロンに関しては、後半玉伸びが良く、食味も良好なことから、好調な取引となりました。

秋果実の柿は、花芽が多かったこともあり、小玉が多かったことから、前年に比べ単価安での取引となりました。

極早生みかんは、台風、長雨の影響から酸抜けやキズ果が目立ち、単価安で推移しましたが、早生種に切り替わってからは、徐々に品質も良くなり、12月以降は、生産量が少ないことから、年明け以降も引き合いが強まる見込みです。

輸入果実

フィリピン産バナナは干ばつの影響から、日本入荷が少なく、堅調な相場で推移していましたが、春の需要期には生育も回復したことから、入荷量が多くなり、一転して相場は低迷しました。

パインは作柄良く、潤沢な入荷となったため、安値基調での販売となりました。グレープフルーツは作付けの減少と他国の需要増により、堅調な相場で推移しました。オレンジも春先の長雨、夏場の干ばつにより日本入荷が少なく、堅調な相場で推移しました。

ゼスプリキウイは作柄に恵まれ大玉傾向から、単価高での取引となりました。

平成29年止市

弘果 弘前中央青果
りんご　12月28日（木）午前8時45分～
青　果　12月29日（金）午前6時～

津軽りんご市場
12月28日（木）午前7時30分～

弘前花き
12月27日（水）午前11時～

平成30年初市

弘果 弘前中央青果
青　果　1月5日（金）午前6時30分～
りんご　1月5日（金）午前8時45分～

津軽りんご市場
1月5日（金）午前7時30分～

弘前花き
1月5日（金）午前11時～

精算窓口営業時間のお知らせ

弘果

●通常は午前6時30分～午後5時※12月20日（水）、12月29日（金）の両日のみ午後3時まで
●1月5日（金）から　午前7時～午後4時

津軽市場

●12月29日（金）のみ　午前8時～正午
●1月5日（金）から　午前8時～午後4時

★両市場とも土曜日、市場休市日は休みです

過去最高値28万円！

創作文字絵りんご研究発表会

岩崎さん渾身の力作

当社第2卸売場特設会場に於いて11月22日、弘前市下湯口の岩崎智里さんが制作した文字絵りんごの研究発表会が行われ、来年の干支「戌」や縁起物の七福神等の絵柄が入った72種類281点の作品が出展され、会場を彩りました。

競売では、スタークジャンボのケース入り3個セット「松竹梅に龍虎鷹」に過去最高値となる28万円、七福神や松竹梅などが描かれた陸奥28個入り「宝船」が20万円の高値が付く度、会場がざわめき、感嘆の声が上がりました。

会場で競売を見守った岩崎さんは「亡き父から文字絵りんごを引き継いで今年で20年目。1つの作品が今まで出品した中の過去最高値で取引されうれしい」と話していました。

過去最高値で取引された「松竹梅に龍虎鷹」

「農(のう)」の「業(わざ)」を継ぐ 期待の後継者

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

岩崎 歩主麻(あすま)さん（24）

【住所】弘前市下湯口
【作付状況】りんご2・5ヘクタール
【就農年】2017年
【きっかけ】りんご栽培と文字絵りんごにチャレンジし続ける父の姿を見て育ち、漠然と家業を継ぐつもりでいました。高校は農業を専攻するため、弘前実業高校の農業経営科に進学しましたが、他の事に興味を抱き、卒業後は上京し、農業とは関係のない仕事をしていました。数年後、父とじっくり話す機会があり、将来的に家業を継ぎたいという想いを再確認して帰郷を決意、就農しました。
【現在】父が育て制作した「文字絵りんご」の出来栄えを見て、「いつか自分もこの様なりんごを作りたい」という気持ちが奮い立ち、りんご生産者としての第一歩を踏み出しました。その気持ちを糧にモチベーションを高め、日々の作業の1つ1つを疎かにせず励んでいます。
【夢・展望】祖父、父と続く「文字絵りんご」を自分も継承し、いつかは自分の作品を出品してみたいです。また、りんご栽培に於いて、父の技術、経営を踏襲しつつも、新しい事にもチャレンジしていきたい。
【座右の銘】「先入観をもたない」一部分だけ見て全てを決めつけず、常に色々な可能性を考えて行動する。

今が旬 津軽の冬野菜

一町田せり

弘前市一町田地区で栽培される「せり」は、冬でも凍ることのない豊富な湧水を利用した、約400年の歴史を誇る津軽の伝統野菜です。

一町田の「せり」は、独特の強い香りとシャキシャキとした食感が特徴で、鍋物やおひたし、天ぷらなど、どのような調理でも素材の風味が活かされます。

「一町田せりを守る会」の木村四郎さんの園地では、現在、収穫のピークを迎え、雪舞う寒い中、水に腰近く浸かり、作業を行っています。木村さんは「収穫は苦労を伴いますが、その甲斐があり、今年も良い『せり』を収穫できました」と話していました。

収穫された「せり」は、きれいに水洗いされ、梱包して市場に出荷されます。収穫作業は雪が降り積もる2月頃まで続く予定です。

「一町田せり」収穫中の木村さん

自然薯

大鰐町唐牛地区の藤田勝清さんの園地で11月20日、自然薯の収穫が行われました。

当日は、雪が積もった土中から、1メートル近い自然薯を折らない様、丁寧に掘り起こしました。今年の出来について藤田さんは「7月の干ばつの影響でやや小振りながら、食味良く仕上がった」と話していました。

当社では、11月26日に行われた「弘前市場まつり」でのイベントから販売を始め、主にギフト用として取引されます。

自然薯を掘り出す藤田さん

第23回弘前市場まつり

大好評の名物「チャリティーカニ大鍋」

第23回弘前市場まつりが11月26日、弘前水産地方卸売市場をメイン会場に開催され、約1万5千人の来場者で賑わいました。

祭り当日は、名物となった3メートルの大鍋で煮込まれた約4千食分の「チャリティーカニ大鍋」が振る舞われ、魚介類、野菜、果物などの販売や、巨大アップルパイの作成、マグロ解体ショー、模擬競り等が行われました。

今回の「チャリティーカニ大鍋」で集まった募金13万1229円は、RABチャリティーミュージックソンへ寄付され、目の不自由な方のための「音の出る信号機」設置に役立てられます。

熱気・活気あふれ大盛況！

りんご剪定勉強会 開催のお知らせ

弘果りんご連絡協議会

▼浪岡地区
日 時…1月9日（火）午前9時30分～
場 所…有馬礼蔵氏園地（青森市浪岡五本松）
講 師…鳴海和昭氏・須藤 実氏

▼平賀地区
日 時…1月10日（水）午前9時30分～
場 所…水木隆行氏園地（平川市町居）
講 師…長尾博人氏・山田敏彦氏

▼中弘地区
日 時…1月11日（木）午前9時30分～
場 所…成田美保子氏園地（弘前市悪戸）
講 師…下山 司氏・木村裕幸氏・米沢久隆氏

▼高杉地区
日 時…1月12日（金）午前9時30分～
場 所…寺田正三氏園地（弘前市高杉）
講 師…葛西 猛氏・兜森浩伸氏

大紅栄

日 時…1月13日（土）午前9時30分～
場 所…ヤマセ農園園地（弘前市石川）
講 師…工藤浩政・木原善範

津軽りんご市場連絡協議会

▼剪定会
日 時…1月10日（水）午前9時30分～
場 所…白鳥一成氏園地（板柳町三千石）
講 師…三浦博寿氏・斎藤美樹氏・今 正利氏

▼特別講演会
日 時…1月10日（水）午前11時30分～
場 所…津軽りんご市場2階会議室
演 題…「平成30年産りんごの生産に向けて」
講 師…津軽りんご市場りんご栽培指導室 室長 古坂徳夫